

令和元年度事業報告

愛の浜園

1. 重点課題に対する取り組みについて

(1) 共生型サービスの創設(放課後等デイサービス事業の展開)

(外部環境)

奄美市における放課後等デイサービス事業の状況につきましては、事業所数が6箇所となっており、近年増える傾向にあります。一方、愛の浜園が隣接する大和村においては、当該の事業所等がないために、奄美市の事業所を利用せざるを得ない状況にあります。

(重点課題に対する取り組み)

事業展開に必要な資格要件(児童指導員、保育士、児童発達支援管理責任者)については、すべて整えることができました。しかしながら、職員募集への応募者がなく、新規事業の展開が難しい状況となりました。

(2) 短期入所事業の拡大(中長期計画)

(外部環境)

奄美病院利用者の中には、入院の対象でない方や家族からの虐待等により行き場のない方が見受けられ、そのような方々の一時的な受入れ先として、近年愛の浜園の短期入所利用希望者が多く見られるようになりました。しかしながら、現在の定員枠が少ないために受入れを断らざるを得ない状況にあります。また、その他にも重複した利用希望がある場合には、同様の状況が続いているところです。

(重点課題に対する取り組み)

- ・奄美市における唯一の障害者入所施設として、その使命を果たすために、利用者の障害特性などそれぞれの容態に応じて職員の配置を行い、より多くの利用者の受け入れを可能にしました。
- ・緊急性の高い事案については、その都度奄美市と協議を行い、特別枠としての受け入れを可能にしました。しかしそのために、日常的な利用者の要望に応じられないケースも発生しました。
- ・利用者数及び収入においても前年度を大きく上回る実績となりました。

2. 各事業所の取り組み

(1) < 施設入所支援 > 定員:40名

- ・健康面を中心に、個々のニーズに合わせてながら、余暇活動(ドライブ、ビデオ鑑賞、カラオケ等、)また、地域行事への参加や外出(買い物、食事)を充実させ、利用者が安心して楽しく生活できるように工夫を行いました。(前年比収入: +2,625,124円)

計 画	実施内容	反 省	課 題
<p>・施設入所支援は、施設内で充実した施設生活を送れるよう、日常的な生活の支援(食事介助、入浴介助、排泄介助、余暇活動、相談等)を行い、安心した生活をサポートします。</p> <p>・本人、ご家族のニーズやスキルを高め達成する為に個別支援計画書を作成し、日中、利用する事業所と連携を図りながら支援します。</p> <p>・利用者の重度化、高齢化に伴い研修や外部講師を招きながら、個々のニーズに合っ</p>	<p>施 設 入 所 定 員 4 0 名 実員：男性：20名 女性：20名</p> <p>・日中、夜間において食事、排泄、歯磨き、入浴、移動の介助、見守り</p> <p>・生活に関する相談や助言</p> <p>・余暇の提供、カラオケ、ドライブ、ビデオ観賞等</p> <p>・支援目標達成の為にスキルアップ支援</p> <p>・利用者の高齢化、重度化に伴う介護用品の購入</p> <p>・毎朝の検温又は必要な方への血圧測定</p>	<p>・利用者の健康面に関して、個々の支援内容に合わせて栄養ケア計画を行い、看護師や管理栄養士と連携を図り進めることができました。</p> <p>・個々の相談員と連携を図ることでご家族への信頼関係が構築されました。</p>	<p>・利用者の高齢化、重度化により、リハビリ道具、器具の購入が必要</p> <p>・利用者の高齢化、重度化に伴い、年間行事の簡素化と活動内容の変更が必要。</p> <p>・業務改善の為に、各部署との連携必要。(支援員の仕事内容の確認)</p>

<p>たサービスを提供します。 ・利用者の意思や健康面を大切に、ゆったりとした環境の中で生活が送れるように取り組みます。</p>	<p>・入浴後に毎回、身体チェック確認、治療</p> <p>7月20日：納涼大会 8月30日：夕涼み会 12月6日：クリスマス忘年会実施</p>		
--	--	--	--

(2) <生活介護事業> 定員:46名

・全体朝礼時、毎日、ラジオ体操を行い、班別活動(ミラクル班、サポート班、スマイル班)、生産活動(陶芸)、クラブ活動、レクリエーション、ヘルスタイム、外出支援は全体で大商業施設に行き、担当と個別での外出を実施しました。ボランティア活動では、海岸の清掃や外部講師によるジャンベ活動及び音楽療法など利用者のニーズや希望に対応しました。(前年比収入: +13,109,880円)

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>・利用者が楽しく活動できる日課や環境(班別活動〔運動、リハビリ、創作、農芸〕、クラブ活動、レクリエーション、外出支援、年間行事)等を計画し、楽しい時間が提供します。</p> <p>・ひとりひとりのご希望やご本人の能力が発揮できるように、施設入所事業所と連携を図り、外部の資源を活用し地域の行事に参加する等、利用者の生きがいや楽しみに繋がる支援を計画します。</p>	<p>生活介護利用 46名定員</p> <p>・生産活動、班別活動、全体活動、クラブ活動、ヘルスタイム、レクリエーション</p> <p>・美化活動、外出支援、ボランティア活動</p> <p>・生産活動班・・・陶芸の作品づくり</p> <p>・班別活動</p> <p>ミラクル班・・・園内環境整備、自動販売機の管理、花苗植え、作品づくり、販売等就労Bにむけての取り組み、GHにむけての取り組み</p> <p>サポート班・・・ウォーキング、生活支援、創作活動</p> <p>スマイル班・・・リハビリ、身嗜み、ドライブ等</p> <p>・全体活動</p> <p>美化活動、花植え、年間行事</p> <p>・クラブ活動</p> <p>ドライブ、カラオケ、ウォーキング、レクリエーション、チャレンジ 35回</p> <p>・ヘルスタイム</p> <p>外部講師による健康体操、高齢の方のリハビリ 7回</p> <p>レクリエーション・・・外部講師による歌や音楽(ジャンベ)や書道、お花、折り紙等</p> <p>・外出支援・・・利用者、家族の希望により、外出(カット、外食、買い物、カラオケ等、ドライブ、利用者のニーズに応じた外出)</p> <p>ボランティア・・・海岸清掃、県道のごみ拾い等 2回</p>	<p>・毎週、週計画を作成し、職員の配置を行いました。</p> <p>・職員その日の人数が足りず、全体活動が多くなりました。</p> <p>・業務改善に伴い、活動時間が少なくなりました。</p>	<p>・来年度の活動時間の見直し</p> <p>・利用者の方が楽しめるように、レクリエーションの充実を図る</p> <p>・高齢、重度の方の対応(健康管理対策)</p> <p>・年間行事の簡素化や取り組み方内容は今後も検討課題</p>

①施設利用状況 ()は前年度

	定 員	在 籍	欠員年間延日数	外泊者年間延日数	24人(28) 174日(144)
男(人)	20	20	0		
女(人)	20	20	0	入院者年間延日数	5人(5) 119日(82)
計(人)	40	40	0		

②年齢構成 ()は前年度

	18歳以上 20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳 以上	計	平均年齢
男(人)	0 (0)	8(8)	9(9)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	20人	47.6 歳歳 (46.6 歳)
女(人)	0 (0)	5(5)	8(8)	3(2)	1(2)	2(2)	1(1)	20人	55.1歳 (54.2 歳)
計(人)	0 (0)	(13)	(17)	(4)	3 (3)	(2)	(1)	40人	51.35歳 (50.9歳)

③支援区分・施設入所 ()は前年度

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男(人)	0 (0)	0(0)	1(1)	4(3)	7(9)	8(8)	20
女(人)	0 (0)	0(0)	1(1)	5(4)	5(6)	9(9)	20
計(人)	0 (0)	0(0)	2(2)	9(7)	13(15)	17(15)	40

④支援区分・生活介護 ()は前年度

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男(人)	0	0	3(2)	5(6)	14(12)	8(6)	30(27)
女(人)	0	0	3(2)	5(5)	7(5)	9(9)	24(21)
計(人)	0	0	6(5)	10(11)	21(17)	17(15)	54(48)

(3) <就労継続支援B型事業> 定員:24名

(前年比収入:△2,278,130 円)

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>[目的] 障害者総合支援法に基づき、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に生産活動の機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識及び能力の向上に必要な訓練等の福祉サービスを提供することを目的とします。</p> <p>[活動内容] (生産活動) 施設内外の生産活動を通じ、知識及び能力の向上や生活リズムの安定を目的とした支援を行います。</p> <p>(相談支援)</p>	<p>障害者への働く場所の提供、及び技能訓練として、農作業や奄美大島の伝統工芸である大島紬織等の生産活動や、施設外就労（奄美市より委託を受けている資源ゴミリサイクル事業）にかかる知識、及び能力の向上を目指した個別支援計画を作成し、半年毎のモニタリングを実施することによって利用者のニーズに沿った計画を実施する事ができました。</p> <p>(港公園清掃業務委託について) 2020年度（令和2年度）から奄美市と随意契約を結ぶことで施設外就労に利用者が取り組む機会の拡大に繋げる事ができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員が24名であったが、平均20名程度の利用状況であり、定員を満員とすることができませんでした。今後は他事業所や相談支援専門員との連携を密にすることで、多くの就労サービスを希望する利用者への確保に努めていく必要があります。 ・農産物や手工芸製品の生産量は増やす事が出来たが、大きく販路を拡大する 	<p>[工賃向上への取り組みについて] 利用者の工賃を更に向上させる為に愛の浜園就労継続支援B型事業が策定した工賃向上計画を再度、確認し職員間で共有することで令和2年度の取り組みを検討する必要があります。</p> <p>[施設外就労で取り組んでいる資源ゴミリサイクル事業について] 分別作業の量（週間単位でのノルマ量）も大幅に増えており、今後は課せられた分別</p>

<p>定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画をニーズに沿って作成します。また、日常生活、対人関係、健康面の相談支援を行います。6ヶ月度に工賃評価を行います。</p> <p>(余暇活動・レクリエーション)</p> <p>桜の花見やグラウンドゴルフなどの軽スポーツ、旧桃の節句での貝拾いや魚釣りなどの行事を計画し実施します。また、納涼大会やクリスマス会などの季節に応じた行事を行います。</p>	<p>(利用者の高齢化に伴うサービス及び定員の見直しについて)</p> <p>利用者の高齢化も進み、就労支援サービスを受け続けていく事が本当に適当であるかの判断を本人及び家族の意向を踏まえた上で6名の利用者のサービス変更を実施しました。それに伴い定員を24名から18名に変更を実施しました。</p>	<p>事ができませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の売り上げは昨年度を上回る事ができたが、栽培の範囲(土地)を収縮することになりました。 	<p>作業量に応じた、職員及び利用者による作業処理能力の確保が課題となっています。</p>
---	---	--	---

(4) <短期入所・日中一時支援>

・虐待ケースや、緊急時の受け入れ、家族や本人の要望に応じて受け入れを行いました。その為、他の、短期を利用したい方が受け入れ出来ないケースもありました。 短期入所・日中一時(前年比収入: +4,546,530円)

計 画	実施内容	反 省	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で生活している利用者、ご家族の負担軽減や緊急時等、気軽に安心して利用できるような体制を整えます。 ・障害(児)者の日中における一時的な見守りや日常的に支援が必要とされる利用者のご家族の負担軽減、また、本人の社会との繋がりや居場所がない場合の支援の受け入れを行います。 ・利用される利用者のニーズ(時間帯)に応じたサービスを提供します。 ・利用者様のニーズにあった、日課や余暇活動を提供します。 ・短期入所は個別支援計画に基づき、支援に取り組めます。 ・家族と密に連絡を取り合い、ニーズに応じた取り組みを行います。 ・毎身体調確認を行い、体調不良時はその都度家族と連絡を取り、対応いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●短期利用(4月～3月利用延べ日数: 1340日) ・男性7名、女性4名 ●日中一時利用(4月～3月利用延べ日数: 357日) ・男性7名、女性1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する方から職員対応の苦情がありました。 ・利用者の家族との連携を密に取り、サービスの提供を行いました。 ・カメラなどで預かり品のチェックをして、利用者の私物の保管、管理を確実に行いました。 ・利用者の体調不良時や施設での感染症発生時に家族との連携を密に行う事ができました。 ・短期を利用したい利用者は沢山いるが、職員の配置や長期ショートがいる事でお断りする事もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期を兄弟で利用したいが、定員枠がなく、利用できない。 ・職員の配置が足りなく、短期が利用できない。

・利用状況

()は、前年度

	契約人数	利用述日数	理 由
短期入所	11人 (7人)	1340日 (651日)	在宅での生活が難しい方の利用 (安全面の確保など) 家族の虐待対応ケース
日中一時 支援	8人 (5人)	357日 (164日)	ご家族の介護の軽減 本人の希望

(5) <フレンド> 定員22名

活動報告

- ・町内行事への参加、知根小学校運動会、学習発表会、市主催の行事に参加しました。
- ・毎月自治会を開いて利用者の要望を聞き、取り入れられる食事メニュー等は献立に取り入れました。
- ・利用者の要望に応じ、土、日の外出、外食を計画し、楽しみました。ホーム全体での食事会、忘年会を計画し、食事、カラオケを楽しみました。 (前年比収入: +960,940円)

計 画	実施内容	反 省	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の社会参加と自立した生活を目指し、個々に応じた支援計画に沿って、生活力を向上させることができるように支援を行います。 ・余暇支援、外出支援、外部の行事への参加の取り組みを支援します。 ・地域の一員として行事への参加を通し、地域住民との交流を深めながら、地域の一員としての自覚を持って生活できるように支援を行います。 	<p>【地域社会との連携】</p> <p>地域の豊年祭、敬老会参加 町内会清掃作業 (第3日曜日)</p> <p>知根小学校運動会、学習発表会参加</p> <p>【他事業所等との連携】</p> <p>納涼大会、奄美祭り花火見学、感謝祭、地区、県の障がい者スポーツ大会</p> <p>【市町村イベントへの参加】</p> <p>奄美市まなびフェスタ【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月世話人、支援員との全体会議を実施した。利用者支援、ホーム全体の管理面、対応など話し合いを持ち、問題点、改善点を共有し、支援に取り組んだ。 ・毎月1回、利用者との話し合いの会をもち、利用者からの要望、意見を聞き、改善できる事には対応した。土、日の過ごし方、各自の部屋の清掃に取り組むようにと促す。利用者からの三賞の推薦がないか、呼びかけた。 ・夜勤者による巡視 <p>体調不良の利用者の申し送り、様子観察など行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理【月1回の健康相談、個々の定期受診、歯科受診、ガン検診】 <p>インフルエンザ予防接種、奄美市ガン検診、複合検診、大腸、胃カメラ検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書に沿った支援 健康管理、余暇支援、身嗜みなど <p>*男性利用者78歳、1月20日に死去。3月末まで1名欠員。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の確認不足による与薬間違い、服薬忘れ、薬のセット間違いなどのヒヤリハットがあった。前年度より少し件数が減った。 ヒヤリハット 17件 (前年比 - 6件) 事故報告書 2件(前年比 - 1件) 大島支庁への報告 2件 (前年比 - 2件) 話し合い 2件(前年比 - 1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化→65歳を過ぎている利用者の今後の生活の場の検討。 ・健康管理―夜間帯の体調不良利用者の健康面。 ・服薬管理―薬のセット間違い、服薬時の確認を徹底する。 ・余暇支援、外出支援 ・利用者同士の人間関係、情緒の安定。

(6) < 指定特定相談支援事業「ていだ」 >

(前年比収入:△578,340円)

計 画	実施内容	反 省	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・現在契約しているお客様に対して相談や訪問、信頼関係の保持。 ・契約者増加。 ・地域貢献 (契約者以外の対応) ・相談支援事業所の加算 (1件につき300P) の継続。 ・他、情報収集を行い、加算をとる為に資格取得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 (166件) 令和元年度の請求額 (9,221,940円) ・モニタリング 327件 ・利用計画 (更新時も含む) 65件 ・平成31年度3月31日時点175件でしたが、令和2年4月には166件になりました。 契約者 (児童) が放課後等 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約増加について 奄美市に相談支援事業所が増えた為、新規の利用者が今までのように増えませんでした。 ・地域貢献 (契約者以外の対応) 地域での相談や事業所との担当者会議、また相談部会へ参加し、地域との連携を図りました。 ・相談支援事業所の加算について 1件につき300Pの継続はできました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・件数が多くなってくると、一人一人の関わりの範囲が制限される。 ・奄美領域の中で遠方の利用契約の件の判断。

(行動障害体制加算・要医療児者支援体制加算・精神障害者支援体制加算等)	イサービスを年度や学年が変わり利用しなくなった為です。	・他、情報収集を行い、加算がとる為に資格取得しました。 ・行動障害体制加算の研修終了。 *相談員として、書類等に工夫を行い、これまでより、少しでも効率的に業務ができるよう、様式を変更しました。
-------------------------------------	-----------------------------	--

(7) <実習受入れ>

・奄美看護福祉専門学校の実習を受入れました。

(第一回：5月9日～20日(男性1名)、第二回：5月30日～6月10日(男性2名))

※第一回の実習生1名は体調不良の為、本人及び学校側からの要望で実習は中止となりました。

※大島養護学校の実習受け入れは、スケジュール調整ができずに、受け入れができませんでした。

受入れ先	実習期間	人数	計(延人数)
奄美看護福祉専門学校	5月30日～6月10日(10日間)	男性2名	20名
大島養護学校			
計	10日	2名	20名

(8) <保健衛生>

・訪問歯科は週2回で、幅広く口腔内の把握、ケアを継続できました。

・早期に感染症予防対策委員会で情報共有、対策を話し合い、インフルエンザやノロ等利用者の発生はありませんでした。

・家族間の問題がある利用者への手術に向けて、医療機関や市役所担当者との連絡・協議を行い、精神的なものを含めて手術実施前から術後までを想定し、予定どおり実施することができました。(悪性腫瘍摘出術)

・服薬管理は、職員間のダブルチェックの徹底を周知するが、服薬関連ミスが改善されないケースがあります。

令和元年度													
		内科	精神科	整形外科	脳外科	外科	耳鼻科	皮膚科	眼科	歯科	婦人科	泌尿器科	計
通院治療	今年度	191	441	30	1	16	26	60	51	549	4	3	1372
(人)	前年度	142	488	9	0	4	25	80	49	590	4	4	1395
入院治療	今年度	7	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	11
(人)	前年度	4	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	10

※数字は年間延べ人数

3. 相談・苦情解決

計画	相談・苦情内容	反省	課題
利用者、ご家族の相談や要望を真摯に受け止め、迅速に誠意をもって対応します。また、施設入所、グループホームの自治会や日常生活の中で、利用者とのコミュニケーションを図り	<p>令和元年4月1日～令和2年3月31日相談苦情の件数の主な内容</p> <p>① 左耳の痛みがあるので受診を検討して欲しい。</p> <p>② 靴のサイズを確認してほしい。(靴が窮屈そうである。)</p> <p>③ 利用者が、洋服が気に入らないと捨てる事について。本人を説得してほしい。(GH利用者)</p> <p>④ 外出、受診時の身だしなみの再確認。</p> <p>⑤ これまで一人でできていた利用者であっても、入浴や排せつについて、本人任せにせずに確認、声掛け支援をしてほしい。(GH利用者)</p> <p>⑥ 構われない様子が伺える。もっと、関わりを持ってほしい。</p> <p>⑦ 療育手帳の判定結果が、現状よりも軽い評価になっている。</p>	<p>・1年間の苦情件数は減っているが、日常生活の支援をしっかりとすれば解決できた事もあるように感じました。</p> <p>・苦情の状況は、全体朝礼や各部署への申し送りで伝達できました。</p>	<p>・日常の個々の支援の見直しを考える。</p> <p>・利用者の相談、苦情の捉え方</p>

<p>ながら、困りごとや相談事を聞き、解決できるように努力し充実した生活が送れるように努めます。</p>	<p>⑧ ご家族より、「歯磨き支援の時に強くこすり過ぎるから、愛の浜園に行きたくない。」と言っている。 ⑨ 利用者の兄より、弟の頭にシャンプーの泡がついていたので、しっかり確認してほしい。 ⑩ 短期利用者家族より、もっと居室の清掃を・・・。 ⑪ もっと優しい声掛けを心がけてほしい職員がいる。 ⑫ 軽体操時に肌が見える服装の利用者がいる。TPOに応じた服装を・・・。</p>		
--	---	--	--

4. 防災訓練

計 画	実施内容	反 省	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、防災訓練を行います。 ・年2回（6ヶ月の間隔を置く）の総合防災（うち1回は消防署立会い）、地震、津波による避難訓練、不審者対策訓練、風水害訓練を取り入れ様々なケースに対応します。 ・火災訓練は、早朝、日中、夕方、夜間を想定した訓練を、毎回火点を変えて行います。 ・年2回、フレンド（G・H）の避難訓練を行います。 ・避難訓練後は、反省会を行い、次回の訓練に反映していきます。 ・毎月園内とグループホームの安全点検を行います。 ・大きな災害や事件が起きた場合は、そのケースを元に話し合いを行い、訓練にも取り入れていきます。 ・年2回、町内向けサイレン放送の拭鳴試験を行います。 ・緊急時には福祉避難所として多目的ホールを開放し、地域住民の受け入れを行います。 ・救急救命講習を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を行う。 普通避難訓練 6回（早朝：3回、日中：2回、夕方1回、夜間：0回） 総合防災訓練 2回（自主訓練：1回、消防署立会い：1回） 不審者対策訓練 1回 地震・津波対策訓練 1回 風水害訓練 1回 フレンド（G、H）避難訓練2回 ・元消防隊の地域住民を招き、救急救命講習を行いました。 ・下水清掃は毎週行いました。 ・毎月安全点検実施し、対応しました。 ・必要な災害用品を購入しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定訓練が行えなかった。 ・防災の係間で情報の共有がとれていない事があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の係で話し合う時間があまり持てなかったため、来年度は月に1回ほど話し合いを持ち、防災訓練の取り組みを考えたり、情報の共有を行う。 ・年1回AEDを使った講習を行う。 ・防災用品は迅速に購入する。 ・本番を想定した緊張感のある避難訓練を検討、実施する。

5. 会議及び研修

・研修では職員のスキルアップとして、理学療法士による園内研修、利用者個々に応じた介護技術研修、園内に必要な研修、(自家発電、救急講習、身体拘束の勉強会、また、働き方改革に合わせて)臨機応変に研修を行いました。

計 画	実 施 内 容	反 省	課 題
<p>・職員の技術アップやサービスの制度についての知識を高めるために、研修を行い、職員の質の向上に繋げていく。</p> <p>・1ヵ月前のケース会議では、発表できるように計画を立てる。</p> <p>・参加できない職員への資料配布もしくは申し送り等、全職員への周知徹底</p>	<p>実施結果</p> <p>5月：夜間、緊急時シュミレーション研修会 ：出張報告(全国生産活動・就労支援部会) ：九州地区知的障害種別部会研修)</p> <p>6月：リハビリ研修 ：新任研修会に参加して ：障害者差別解消法福祉事業者向け研修 ：知ってる？知らない？救急法</p> <p>7月：新任職員研修会 ：自家発電機作動研修会 ：リハビリ講習会(圧迫骨折・バランスボール) ：看取り、ターミナルケアの研修会</p> <p>9月：危機管理講習会 プロフェッショナルを目指して ：身体拘束について (クローズアップ現代：何故減らない身体拘束)</p> <p>11月：全国大会報告研修 ：慈愛会福祉法人5施設研修</p> <p>12月：部署ごとによる働き方改革に伴う改善策</p> <p>2月：新任職員研修会 ：大島地区障がい関係施設職員研修会 ：理事長と語ろう会</p> <p>3月：令和2年度事業計画について 新型コロナウイルスに向けて手洗い講習</p>	<p>・前年度の課題であった、共生社会にむけての研修会が、理事長と語ろう会、5施設研修会の中での研修でヒントが見つかった。</p> <p>・多数の人数で、全国大会に参加できたことは何よりの収穫でした。</p> <p>・看取りの研修は職員間の連携が大切であることが理解できました。</p>	<p>・その時々の中の問題や課題についての研修(働き方改革、介護技術や支援のスキル等、園全体のレベルアップに向けた研修)が必要</p>

6. 年間行事

・利用者の高齢化等に伴い、行事に参加できない利用者も散見されました。

月	日	内 容	備 考
4月	1 4	新年度事業開始 旧桃の節句	・施設入所40名 生活介護46名 グループホーム22名 就労B事業所22名 ・生活介護:知名瀬の海岸 就労B:大和村方面
5月	1 5 12 19	創立記念日 面会日 鹿児島県障害者スポーツ大会 ・小旅行 鹿児島県障害者スポーツ大会 ・小旅行	・記念日を祝う(紅白まんじゅうを提供)、運営方針、支援計画の説明 ・多目的ホールにて 家族会 総会 ビデオ鑑賞 写真展示等 ・陸上(1名参加) ・鹿児島県(知的、身体、精神) ・鹿児島市内 2名(・観覧車 ・映画鑑賞) ・アキュラシー 3名 ・鹿児島県(知的、身体、精神) ・鹿児島市内3名 (水族館、プラネタリウム、博物館他)
6月	7 8 22 25	一日遠足 " グラウンドゴルフ大会 知名瀬町内会 敬老会	・龍郷町文化センター りゅうゆう館 生活介護 74名参加 ・住用村 山間 マングローブパーク 就労B 25名参加 ・知名瀬グラウンドゴルフ場にて 27名参加 ・公民館(フレンド利用者も招待され参加) 余興にて発表8名
7月	4 5 20	夏に親しむ(一日遠足) " 愛の浜園納涼大会	・国直海岸:(生活介護) 83名参加 ・住用村 マングローブパーク (就労B) 28名参加 ・台風接近為、多目的ホールにて食事、演芸を楽しむ 137名 その他大勢
8月	2 6 24	奄美祭り花火見学 夏の買い物支援 夕涼み会	・今回は、公用車でドライブをしながら花火の見学を行った。 50名参加 ・お盆前の雰囲気を楽しむながら、食事や買い物を楽しんだ。45名参加 ・夏の一夜、利用者、職員で食事やゲームをして楽しむ 計115名参加

9月	1 12	町内会豊年祭相撲見学 敬老会(園内)	・知名瀬公民館 町内の行事に参加して親睦を深めた 26名参加 ・多目的ホール 敬老者を皆でお祝いし、楽しい時間を過ごす 計92名参加
11月	3 9 24	大島地区ゆうあいスポーツ大会 知根小学校 60 周年記念学習発表 会感謝祭	・龍郷町 グラウンド 101名参加 ・地域との関り、親睦を図る。知根小学校体育館(舞台で発表14名) ・地域の方への感謝の気持ちを込め。(多目的ホール、中庭) 職員41名参加
12月	6 12 27	クリスマス・忘年会 園内餅つき 御用収め	・市内サンプラザホテルにてご家族、町内、講師招く 17時半～20時半 ・力強く餅をつき、新年を迎える準備を行う。 多目的ホール 99名参加
1 月	6 10 25 30	御用始め 年の祝い 花見遠足 花見ドライブ	・子年生まれをお祝いし、今年一年の健康を祈る 多目的ホール 91名 ・春の訪れを感じながさくらの花を見学する (就労 B) 崎原～龍郷 ・桜の花を見て。楽しみながら季節を感じる (生活介護) 崎原 68名
3月	26 26	旧桃の節句 〃	・釣りや散歩をして親睦を図る 大和損 就労 B 25名参加 ・昔ながらの地域の行事を大切に一年の健康を祈る 知名瀬海岸 生活介護 73名参加